



㈱アメニティグループ
社長 伊志峰 勲さん(写真右)と
援農隊の皆さん (沖縄県今帰仁村)

●人は食べ物でできている

「株式会社アメニティ」は創業して 28 年、沖縄で飲食業を営んできました。現在は「健康食彩レストランだいこんの花」3 店舗と居酒屋 3 店舗、そしてケータリングお届け料理の会社を経営しています。

沖縄はかつて日本一の長寿を誇り、世界的にも注目される健康的な島でしたが、戦後のアメリカ文化の影響で、ファーストフードや缶詰の消費が多く、今では長寿神話は過去のものとなっています。

そこで私たちは「食文化を通して、地域の人々の心と体の健康をサポートします」という経営理念のもと、沖縄の人々に健康的な食生活を取り戻していただきたいという思いで、安心・安全な食材を使ったお料理を提供し、社員が食育を学び、お客様への情報発信をしてきました。人はその人が食べたものでできています。だからこそ、何を食べるのかをしっかりと判断してほしいのです。

●きっかけは『地球村』との出会い

私たちが農業に取り組むことになった

のは、2008 年夏の高木先生との出会いがきっかけです。それまで漠然と感じていた日本の農業への危機感、食料自給率の問題、その現実を突き付けられて、気付いた以上は行動しなければと、2009 年 2 月に農業法人を立ち上げ、460 坪のハウスを借りて葉野菜の栽培を始めたのです。

初めは、専属の社員が農場長 1 人だけで、社長と各店舗からの援農隊が毎週泊まりがけで土づくりや植え付け、草取り、収穫、と何でも手伝いました。これは農場スタッフが増えた今も継続しています。店舗のスタッフが食材を大切に扱うようになり、作る側と使う側とのコミュニケーションにも役立っています。

今では農地は 2 万坪を超え、品目も野菜に加え、タンカン、パイン、シークワサーなどの果樹も加わりました。無農薬有機栽培ですので、一部の畑は有機 JAS 認定も受けています。そのほとんどを社内の各店舗で消費し、一部は店舗やファームの直売所で販売しています。今年からは県外へも販売していく予定です。

●農業の 6 次産業化を目指す

しかし、農業に本格的に取り組んでいくうち、農業の厳しさも思い知らされます。天候に左右されやすく、特に沖縄は台風が来ると作物が全滅することもしばしばです。何とかして農業を自立できる産業にしなければ継続は難しく、いつまでもグループ会社のお荷物になってしまいます。そこで、「農業の 6 次産業化」に取り組むことにしました。つまり、作物を加工することで付加価値をつけて、販売しようということです。

加工場を作ろうという時に、地域の小学校が廃校になるという話があり、その跡地の使用者の公募がありました。さっそく利用計画を作成して応募したところ、運よく選んでいただくことができ、2011年11月、加工場が完成しました。ここでは豆腐や豆乳、味噌、野菜のドレッシング、天然酵母の石釜パンの他、店舗で使う食材の加工もしています。最近では地域の畜産業者さんと連携し、豚を丸ごと仕入れ、カットして店舗へ提供すると共に、無添加のソーセージも作っています。

これらの商品は、地域の「道の駅」や、生協でも扱っていただけるようになり、少しずつ社外への販売も増えてきました。

●食育ファームの夢が現実

以前、高木先生と対談させていただいた時にお話した「食育ファーム」の夢が、いよいよ形になろうとしています。旧小学校の校舎の一部は加工場と、スタッフのミーティングルーム、援農隊の宿泊ルームなどに改装していましたが、第2期工事として、2012年8月に別棟の教室を、社員研修や講演会に利用できるセミナールームに改装、また、手づくり体験工房も作りました。去年の夏は、小学6年生から高校2年生までの50名が5泊6日の合宿を行いました。私も少しだけ時間をもらって、食育の講義をさせていただきました。そこで提供した食事は全て手づくり。ファームでとれた野菜と、工房で作った無添加の食材を使った料理を食べていただきました。すると、たった4日間で参加した女生徒のアトピーが劇的に改善し、本人が大喜びで報告してくれるというサプライズがあり、食の大切さを改めて痛感しました。

また、店舗で「健康体験ツアー」を企画

し、お子さんも含めて家族で参加していただき、農場での収穫体験、パン作り体験、ファームで作った食事を食べていただくというツアーも好評です。



アトピーが改善した生徒（合宿での食事）

そして今年の夏には、いよいよ農場レストランと、宿泊棟が完成する予定です。すでに企業のセミナーの予約もいただいています。今後は子どもたちの体験学習や、合宿場所として、農業を通して食の大切さ、いのちの大切さを楽しく学べる場所にしていきたいと思っています。幸せの原点は健康です。健康でなければお金も、趣味も仕事も意味をなしません。そして健康な体を作るのは食べ物です。この大切な食べ物を作る「農」に関わることができたこと、そのきっかけを作ってくださった高木先生に、心から感謝いたします。



笑顔で大根を収穫する子ども（農業体験）

(株)アメニティの伊志嶺社長は、2010年4月号のスペシャル対談に登場いただいています。2010年4月号対談ページ <http://bit.ly/Z7u0Gp>